

**子どもの予防接種について** ・生後2か月から、B型肝炎・ロタウイルス・五種混合・小児用肺炎球菌ワクチン等の接種を始めましょう。  
 ・定期予防接種以外の予防接種（接種費用は保護者負担）については、かかりつけの医師と相談して接種してください。  
 ～子どもの健康を守るために、予防接種を受けましょう～  
 (注) 「6日以上の間隔」…1週間後の同じ曜日から接種が可能です。  
 「27日以上の間隔」…4週間後の同じ曜日から接種が可能です。

## 定期予防接種 スケジュール

接種種類	接種対象	接種スケジュール	個人通知など	場所	費用		
B型肝炎	1歳未満	標準的には、生後2か月～9か月未満	出生届出後に「予診票」をお送りします。 (予診票がない場合はご連絡ください。)	県内委託医療機関 (県外で接種される場合は、事前にご連絡ください。)	無 料		
ロタウイルス感染症	ロタリックス	出生6週0日後～24週0日後				初回接種を出生14週6日後までに完了させることが推奨されています。原則、同一ワクチンで接種してください。	27日以上の間隔で2回
	ロタテック	出生6週0日後～32週0日後				27日以上の間隔で3回	
小児の肺炎球菌感染症	生後2か月～5歳未満	接種開始が生後2か月～7か月未満				27日以上の間隔で3回、3回目から60日以上の間隔かつ1歳以上(標準的には1歳から1歳3か月の間)で1回。ただし3回目は12か月未満で接種。計4回	
		接種開始が生後7か月～1歳未満				27日以上の間隔で2回、2回目から60日以上の間隔かつ1歳以上で1回。ただし2回目は24か月未満で接種。計3回。	
		接種開始が1歳 接種開始が2歳～5歳未満				60日以上の間隔で2回。計2回 1回	
五種混合 (DPT-IPV-Hib)	第1期 初回	生後2か月～7歳6か月未満				標準的には生後2か月～12か月未満	20日以上(標準的には20～56日まで)の間隔で3回
	第1期 追加					初回(3回)終了後、6か月以上(標準的には3回目終了後6～18か月)で1回	
BCG	1歳未満	標準的には生後5か月～8か月未満				ツベルクリン反応検査を行わずに接種(2か所)	
麻しん・風しん混合 (MR)	第1期	1歳				1回	
	第2期	小学校入学前1年間 (入学前年度の4月1日～3月31日) 令和7年度対象者：平31.4.2～令2.4.1生	1回				
水ぼうそう	1歳・2歳	標準的には1回目の接種は1歳～1歳3か月未満	3か月以上(標準的には6～12か月)の間隔をおいて2回				
日本脳炎	第1期 初回	生後6か月～7歳6か月未満	標準的には3歳～4歳未満	6日以上(標準的には6～28日)の間隔で2回			
	第1期 追加		標準的には4歳～5歳未満	初回(2回)終了後、6か月以上(標準的にはおおむね1年)あけて1回			
	第2期	9歳～13歳未満	標準的には9歳～10歳未満	1回			
	※	平7(1995)年4月2日～平19年(2007)年4月1日生まれの20歳未満の人	合計4回の接種が済んでいない場合、残りの予防接種が受けられます。				
二種混合 (DT)	11歳・12歳	標準的には11歳	1回(乳幼児期の四種混合(DPT-IPV)の追加免疫)				
ヒトパピローマウイルス感染症 (子宮頸がん等予防)	小学6年生～高校1年生相当年齢にある女子 令和7年度対象者：平21.4.2～平26.4.1生 (標準的には中学1年生) 令和7年度対象者：平9.4.2～平21.4.1生、かつ、令4.4.1～令7.3.31にHPVワクチンを1回以上接種した女子		合計3回 ただし、ワクチンの種類や接種開始年齢により、接種間隔や接種回数が異なりますので、接種医師にご確認ください。				

## 任意予防接種

おたふくかぜワクチンの予防接種の一部補助を行っています。補助を受けていただくには、接種前の申請が必要です。

オンライン申請もできます



接種種類	補助額	補助対象
おたふくかぜワクチン	1回あたり、上限3,000円(1児あたり、2回まで)	1歳～小学校入学前年度3月31日までの児